本予告は，現時点で構想中のものであり，今後，文部科学省等関係者と調整の上，
令和８年度に文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。
なお，構想は審査結果によって確定するものであり，変更の可能性があります。

学士課程再編に伴う令和９年度福島大学入学者選抜方法等について（予告）

令和７年７月１日

国立大学法人福島大学

はじめに

令和９年度学士課程再編の構想内容等については，本学ホームページ上の「福島大学グランドデザイン 2040 －学士課程再編－」に掲載しております。掲載箇所のＵＲＬは次のとおりです。 https://www.fukushima-u.ac.jp/2040/granddesign2040.html

なお，掲載内容については，随時更新していきます。

１．再編後の教育組織および入学定員

令和９(2027)年度から下図のとおり，現行の３学群（人文社会学群・理工学群・農学群）５学類（人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類・共生システム理工学類・食農学類）から４学部（教育学部(仮称)・政経学部(仮称)・理工学部(仮称)・食農学部(仮称)）に再編します。

人文社会学群行政政策学類夜間主（入学定員 20 人）については，令和８年４月をもって学生受入を停止します。

【現行】			【再編後】
人文社会学群	人間発達文化学類(260人)	⇒	教育学部　学校教育教員養成課程(仮称)(235人)
	行政政策学類(205人) 経済経営学類(220人)	⇒	政経学部　政経学科(仮称)(400人)
理工学群	共生システム理工学類(200人)	⇒	理工学部　理工学科(仮称)(215人)
農学群	食農学類(100人)	⇒	食農学部　食農学科(仮称)(135人)

2. 募集人員等

一般選抜（前期日程・後期日程），総合型選抜，学校推薦型選抜，および私費外国人留学生選抜により学生募集を行います。

令和7年6月時点の情報です

［現行：令和8年度入学者選抜まで］　　単位：人

学群	学類		コース等	入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	私費外国人留学生選抜
人文社会学群	人間発達文化学類		教育実践コース	260	15	A系 6		14	各コース若干名
			心理学・幼児教育コース		20			7	
			特別支援・生活科学コース		12			13	
			芸術・表現コース		12		8	8	
			人文科学コース		60	B系 6		15	
			数理自然科学コース		15			11	
			スポーツ健康科学コース		20		12	6	
			小計		154	12	20	74	
	行政政策学類	昼間	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	185	108	35		42	若干名
		夜間主	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20			20		
			小計	205	108	35	20	42	若干名
	経済経営学類		経済学コース 経営学コース	220	115	40	11	A推薦 25 B推薦 25	5
理工学群	共生システム理工学類		情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	200	102	50	一般枠 24 理系教育女性人材育成枠 8	16	若干名
農学群	食農学類		食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20		若干名
合計				985	538	157	103	182	5

［再編後：令和9年度入学者選抜から］　　単位：人

学部	学科	コース等		入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	総合型選抜	学校推薦型選抜	私費外国人留学生選抜
教育学部（仮称）	学校教育教員養成課程	地域課題探求コース グローバル探究コース STEAM教育コース 教育臨床コース インクルーシブ教育コース	国語系 英語系 社会科系 算数・数学系 理科系 保健体育系 心理系	235	検討中				
政経学部（仮称）	政経学科	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース		400	210	50	総合型Ⅰ型 概ね20 総合型Ⅱ型 概ね20	A推薦 65 B推薦 25	10
理工学部（仮称）	理工学科	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース		215			一般枠 理系教育女性人材育成枠 検討中		
食農学部（仮称）	食農学科	食品科学コース 農業科学コース 農業経営学コース フィールド環境学コース		135					
合計				985					

３．各学部の入学者選抜の内容等（私費外国人留学生選抜除く）

（１）教育学部（仮称）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

②総合型選抜

③学校推薦型選抜

・詳細については検討中です

（２）政経学部（仮称）（６～１０ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

・別表１－１参照（６ページ）

②総合型選抜

・別表１－２参照（７～８ページ）

③学校推薦型選抜

・別表１－３参照（９～１０ページ）

（３）理工学部（仮称）（１１～１５ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

・令和８年度共生システム理工学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません

・別表２－１参照（１１ページ）

②総合型選抜

・令和８年度共生システム理工学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません

・別表２－２参照（１２～１４ページ）

③学校推薦型選抜

・令和８年度共生システム理工学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません

・別表２－３参照（１５ページ）

（４）食農学部（仮称）（１６～１７ページ）

①一般選抜（前期日程・後期日程）

・令和８年度食農学類入学者選抜方法から定員以外の変更はありません

・別表３－１参照（１６ページ）

②総合型選抜

・別表３－２参照（１７ページ）

４．私費外国人留学生選抜

［１］出願資格（全学部共通）

次の（１）（２）（３）（４）の条件をすべて満たす者とします。

（１）日本国籍を有しない者

（注）　日本国籍を有しない者であっても，日本の高等学校等を卒業した者または（2027）年３月に卒業見込みの者，および日本の永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は，この選抜には出願できません。

（２）出入国管理及び難民認定法において大学入学資格に支障のない在留資格を有する者および取得できる見込みの者

（注）　在留資格によっては，本学の私費外国人留学生選抜に出願できない場合があるので，事前に本学入試課に照会してください。

（３）次のいずれかに該当する者
①外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者（令和９（2027）年３月までに　修了見込みの者を含む），またはこれに準ずる者で，文部科学大臣の指定した者
②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格またはインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を有する者
⑦国際的な評価団体（ＷＡＳＣ，ＣＩＳ，ＡＣＳＩ，ＮＥＡＳＣ，Ｃｏｇｎｉａ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者または令和９（2027）年３月 31 日までに修了見込みの者
⑧本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９（2027）年３月 31 日までに 18 歳に達する者※

（４）独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験を各学類が指定した方法で受験した者

※　出願資格の（３）⑧により出願を希望する者については，個別審査を行います。個別審査の申請に必要な書類については本学入試課へ問い合わせるか，本学ウェブサイトの「入試情報」（https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/）を参照してください。

［２］入学者選抜方法

教育学部（仮称）

・詳細については検討中です。

政経学部（仮称）

（１）入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する面接の結果から算出された総得点で判断します。

（２）出願者は，出願時においてすでに終了した直近の試験を含む３回（令和７（2025）年の 11 月および令和８（2026）年の６月，11 月）の日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。なお受験科目は，日本語を必須とし，その他３教科から選択された１教科の計２教科を用います。教科および教科内のコース・科目の選択は指定しません。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

（3）試験科目および配点等

志望するコース	日本留学試験で受験が必要な教科				本学が実施する試験	総合点
	日本語（必須）	総合科目	理　科	数　学	面　接（必須）	
・産業・地域社会イノベーションコース ・経済経営コース ・公共政策デザインコース	450	(200)	(200)	(200)	200	850

（注）１．配点に（　）を付してある教科は，選択教科を表します。
　　　２．理科（物理・化学・生物）における理科２科目，および数学のコース１・２の選択は自由とします。

理工学部（仮称）

（1）入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する面接の成績の総合点により判定します。

（2）出願するためには，令和８（2026）年６月または令和８（2026）年 11 月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は，日本語，理科〈物理，化学，生物から２科目選択〉，数学〈コース２〉です。出題言語は，日本語または英語のいずれを選択してもかまいません。

（3）試験科目および配点等
日本留学試験 100 点（850 点を 100 点に圧縮），本学が実施する面接 100 点，合計 200 点とします。

（4）面接では，勉学意欲，日本語能力，理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

食農学部（仮称）

（1）入学者の選抜は，出願資格の項に示す日本留学試験の成績と，本学が実施する面接および口頭試問の成績の総合点により判定します。

（2）出願するためには，令和８（2026）年６月または令和８（2026）年 11 月に実施される日本留学試験のいずれかを受験していなければなりません。受験教科・科目は日本語，理科〈物理，化学，生物から２科目選択〉，数学〈コース２〉です。出題言語は，日本語に限ります。

（3）試験科目および配点等
日本留学試験 100 点（850 点を 100 点に圧縮），本学が実施する面接および口頭試問 100 点，合計 200 点とします。

（4）面接および口頭試問では，勉学意欲，日本語能力，理科と数学の基礎学力等を総合的に評価します。

５．留意事項

本予告内容は，令和７年６月時点での情報です。掲載している学部名称，募集人員および選抜内容等については，令和８年度に公表予定の入学者選抜要項および各募集要項で必ず確認してください。

【一般選抜】 政経学部（仮称）

別表1－1

<table>
<tr><th rowspan="2">コース</th><th rowspan="2">日程
募集人員</th><th colspan="2">大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等</th><th colspan="2">個別学力検査等</th><th colspan="11">大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>試験の区分</th><th>国 語</th><th>地歴,
公民</th><th>数学 数学①</th><th>数学 数学②</th><th>理 科</th><th>外国語</th><th>情 報</th><th>小論文</th><th>配 点
合 計</th></tr>
<tr><td rowspan="6">産業・地域社会イノベーションコース
経済経営コース
公共政策デザインコース</td><td rowspan="3">前期日程
210人</td><td rowspan="6">国

地歴，公民

数

理

外

情</td><td rowspan="6">「国語」

「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，
「歴史総合，世界史探究」から2
または，
「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，
「歴史総合，世界史探究」から1
「公共，倫理」，「公共，政治・経済」から1

数学①「数学Ⅰ，数学A」および
数学②「数学Ⅱ，数学B，数学C」

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1
*「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は，物理基礎，化学基礎，生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし，そのうち2つを選択解答してください。

「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」 から1

「情報Ⅰ」

〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕</td><td rowspan="3">外国語

その他</td><td rowspan="3">英語 （英語コミュニケーションⅠ，
英語コミュニケーションⅡ，
英語コミュニケーションⅢ，
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，
論理・表現Ⅲ）
小論文
から1</td><td>共通テスト</td><td>200</td><td>400

200</td><td colspan="2">100 ｜ *100
200
----
200 ｜ *200
400</td><td>100</td><td>200</td><td>*100
----
*200</td><td></td><td>1100</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>（400）</td><td></td><td>（400）</td><td>400</td></tr>
<tr><td>計</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1500</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期日程
50人</td><td rowspan="3">外国語

その他</td><td rowspan="3">英語（英語コミュニケーションⅠ，
英語コミュニケーションⅡ，
英語コミュニケーションⅢ，
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，
論理・表現Ⅲ）
小論文
から1</td><td>共通テスト</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td></td><td>300</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td>（100）</td><td></td><td>（100）</td><td>100</td></tr>
<tr><td>計</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>400</td></tr>
</table>

※一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程）において調査書は，高大接続および学力の3要素評価の観点から，総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」，「公民」については，2科目のうち少なくとも1科目は，「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」より選択することとします。

② 「理科」については，

a. 2科目受験している場合は，第1解答科目を判定に用います。

b. 「理科」を2科目選択する場合は，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択しても構いません。

③ 「外国語」の「英語」については，リーディングおよびリスニングを課します（リスニングを免除された場合は，リーディングのみとなります）。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

（1） 前期日程について

① 配点に（ ）を付してある教科は，選択教科を表します。

② 科目群A（「地理歴史」，「公民」）の合計得点と，科目群B（「数学②」と「情報Ⅰ」のうち高得点の1科目と「数学①」）との合計得点とを比較し，合計得点の高い科目群を2倍に傾斜配点します。（科目群Aが高得点の場合は上段，科目群Bが高得点の場合は下段）＊印を付してある「数学②」と「情報」は，それぞれ受験が必要ですが，高得点の1科目を用います。

③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については，リーディングの得点を200点満点に，リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を，配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は，リーディングの得点を，配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は，筆記の得点をそのまま利用します。

（2）後期日程について

① 配点に（ ）を付してある教科は，選択教科を表します。

② 解答した〔6教科8科目〕または〔7教科8科目〕をそれぞれ100点満点に換算し，そのうち高得点の〔3教科3科目〕を判定に用います。各教科，科目ごとの注意事項は以下のとおりです。

a.「地理歴史」，「公民」は，第1解答科目（1教科1科目のみ）を判定に用います。

b.「数学」については，「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので，「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕に該当する場合は，どちらか高得点の科目を判定に用います。

c.「外国語」の「英語」については，リーディングの得点を200点満点に，リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を，配点（100点満点）に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合は，リーディングの得点を，配点（100点満点）に換算して利用します。英語以外の「外国語」の場合は，筆記の得点を配点（100点満点）に換算して利用します。

【総合型選抜】 政経学部(仮称)　　　　別表1－2(1)

実施学部名	政経学部(仮称)　　Ⅰ型
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース （以上3コース）概ね20人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに，好奇心や探究心の豊かな者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合，入学することを確約できる者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く)により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 なお，総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は，総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	第1次選抜，第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 書類審査。課題図書(事前に提示)に基づくレポートと志願理由書によって，30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 ＜第2次選抜＞ 課題図書に基づくグループディスカッション(100点)と面接試験(100点)によって選抜します。
その他	詳細は，令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

【総合型選抜】 政経学部（仮称）

別表1－2(2)

実施学部名	政経学部（仮称）　Ⅱ型（指定検定資格要件：英語）
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース 概ね20人
出願資格	次の（1）から（3）のすべてに該当するとともに，一定の英語能力があり，グローバルな視点から社会課題の解決に取り組む意欲をもつ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，合格した場合，入学することを確約できる者とします。 (1) 次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上の者 (3) 以下に指定する①から③の語学検定試験のいずれかにおいて，一定の基準に達している者 ①(公財)日本英語検定協会主催　実用英語技能検定（英検）CSEスコア1850点以上 ※「英検 S-CBT」（「英検 2020 1day S-CBT」「英検 CBT」を含む）の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 ②(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会主催　TOEIC L&R 480点以上 ③ETS Japan 合同会社主催　TOEFL iBT 50点以上 ※「TOEFL iBT Home Edition」（「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む）の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 なお，総合型選抜に出願した者が本学部の学校推薦型選抜に出願した場合は，総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。
選抜方法	第1次選抜，第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 書類審査。課題図書（事前に提示）に基づくレポートと志願理由書によって，30人程度を選抜します。調査書は書類審査のための基礎資料として使用します。 ＜第2次選抜＞ 課題図書に基づくグループディスカッション（100点）と面接試験（100点）によって選抜します。
その他	詳細は，令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります。

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】 政経学部（仮称） 別表1－3(1)

実施学部名	政経学部（仮称） A推薦
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース （計）65人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに，経済学，経営学，政治学，法学，社会学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者とします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者とします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上の者 (2) 学力・人物が優れている者
選抜方法	小論文（100 点満点）と面接（50 点満点）の成績の総合点により判定します。 出願書類は判定の基礎資料として利用します。
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数は，A推薦およびB推薦をあわせて制限はありません。 (2) 詳細は，令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

【学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）】 政経学部（仮称） 別表1－3(2)

実施学部名	政経学部（仮称） B推薦（指定検定資格要件:簿記）
募集人員	産業・地域社会イノベーションコース 経済経営コース 公共政策デザインコース （計）25人
出願資格	次の(1)から(3)のいずれかに該当するとともに，簿記に関連する資格を持ち，会計学などを通じて社会課題を解決することに強い意欲を持つ者。なおかつ本学部のアドミッション・ポリシーに適合する者とします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定により令和8年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和8年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者とします。 (1) 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 3.8 以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ①日本商工会議所主催　簿記検定試験1級または2級（なお，1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ②(公財)全国商業高等学校協会主催　簿記実務検定試験1級 (3)学力・人物が優れている者
選抜方法	小論文（100 点満点），面接（50 点満点），朱記要件加算(50 点)の成績の総合点により判定します。 出願書類は判定の基礎資料として利用します。
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数には，A推薦およびB推薦をあわせて上限はありません。 (2) 詳細は，令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

別表2－1

【一般選抜】 理工学部(仮称)

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等：教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等：科目名等	個別学力検査等：教科等	個別学力検査等：科目名等
情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース	前期日程 募集人員 検討中	国 地歴, 公民 数 理 外 情	「国語」 「地理総合, 地理探究」,「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」,「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」,「公共, 政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 数学①「数学Ⅰ, 数学A」および 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,「物理」,「化学」, 「生物」,「地学」 から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕	数学 理科	数学 （数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C） 理科 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 から2
	後期日程 募集人員 検討中			その他	面接

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

日程	試験の区分	国 語	地歴, 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	面 接	配 点 合 計
前期日程	共通テスト	200	100	300	200	200	100		1100
	個別学力検査等			(300)	(300) (300)				600
	計								1700
後期日程	共通テスト	200	100	400	200	200	100		1200
	個別学力検査等							300	300
	計								1500

※一般選抜(前期日程), 一般選抜(後期日程)において調査書は, 高大接続および学力の3要素評価の観点から, 総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」,「公民」から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。(2科目選択する場合は, 右図の中から選択してください。×印の選択はできません。)

② 「理科」については,「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

③ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

(1) 前期日程について

① 「数学」の出題範囲は「全範囲」とします。

② 「理科」の「物理」,「化学」,「生物」については全領域とします。

(2) 後期日程について

① 個別学力検査等は「面接」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① 大学入学共通テスト「数学」については, 前期の得点は300点満点に, 後期の得点は400点満点に換算して利用します。

② 「外国語」の「英語」については, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、２科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

		「地理総・地理探」	「歴総・日探」	「歴総・世探」	「地理総・歴総・公」 地理総 及び 歴総	「地理総・歴総・公」 地理総 及び 公	「地理総・歴総・公」 歴総 及び 公	「公・倫」	「公・政経」
「地理総・地理探」			○	○	×	×	○	○	○
「歴総・日探」		○		○	×	○	×	○	○
「歴総・世探」		○	○		×	○	×	○	○
「地理総・歴総・公」	地理総 及び 歴総	×	×	×				○	○
	地理総 及び 公	×	○	○				×	×
	歴総 及び 公	○	×	×				×	×
「公・倫」		○	○	○	○	×	×		×
「公・政経」		○	○	○	○	×	×	×	

実施学部名	理工学部(仮称)　一般枠
募集人員 (検討中)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース 募集人員 検討中 (注)所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する者とします。 (1)以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2)本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合に入学を確約する者 (3)以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時までに実用英語技能検定試験2級以上に合格，または，TOEIC　L&R 550点以上，TOEIC S&W 240点以上，TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※TOEFL iBTは，「TOEFL iBT Home Edition」(「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む)の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者(卒業見込みの者)で，高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み，出願時までに学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の者で，高等学校において数学「数学Ⅲ，数学Cのうち1科目以上」，および，理科「物理(物理基礎を除く)，化学(化学基礎を除く)，生物(生物基礎を除く)，地学(地学基礎を除く)のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選抜方法	第1次選抜，第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し，一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者とします。なお，入学志願者が70人を超えない場合には，第1次選抜を実施せず，第2次選抜のみとします。 【志願理由書】 以下について，指定様式に記載してください。なお，記載は出願者本人による手書きとします。 1．出願資格(3)に関する経験・実績(出願者がどのように努力してきたのか，取り組みの過程で学んだ(感じた)こと，本学類での学修にどのように活かそうとするのか) 2．将来の目標，それを実現するための計画 3．自己PR ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して，幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に，模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し，さらに面接を実施します。そして，以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート：模擬授業の内容を聴き取り理解する力，授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ，設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 ○面接：面接員との質疑応答を通して，大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。
その他	・総合型選抜を志願する女子は，出願する枠を以下の中から選択することができます。 □一般枠　□理系教育女性人材育成枠 □一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合，理系教育女性人材育成枠の合格者とします。

実施学部名	理工学部(仮称)　理系教育女性人材育成枠
募集人員 (検討中)	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース → 募集人員 検討中 (注)所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します
出願資格	次の(1)から(3)のすべてに該当する者とします。 (1)以下のいずれかに該当する者 (1a) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者 (1b) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者 (1c) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定(第6号を除く。)により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者および令和9年3月までにこれに該当する見込みの者 (2)本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意欲を持ち，合格した場合に入学を確約する者 (3)以下のいずれかに該当する者 (3a) 出願時までに実用英語技能検定試験2級以上に合格，または，TOEIC　L&R 550点以上，TOEIC S&W 240点以上，TOEFL iBT 42点以上いずれかのスコアを有する者 ※TOEFL iBTは，「TOEFL iBT Home Edition」(「TOEFL iBT Special Home Edition」を含む)の受験によって得られた成績を，従来方式と同等に扱います。 (3b) 高等学校を卒業した者(卒業見込みの者)で，高等学校在学中に「科学に関する探索的活動」に取り組み，出願時までに学外での発表・コンテスト参加等の経験を有する者 (3c) 調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上の者で，高等学校において数学「数学Ⅲ，数学Cのうち1科目以上」，および，理科「物理(物理基礎を除く)，化学(化学基礎を除く)，生物(生物基礎を除く)，地学(地学基礎を除く)のうち1科目以上」を履修した者または履修している者
選抜方法	第1次選抜，第2次選抜により行います。 ＜第1次選抜＞ 出願時に提出された志願理由書および出願書類を総合的に評価し，一般枠および理系教育女性人材育成枠あわせて70人程度を第1次選抜合格者とします。なお，入学志願者が70人を超えない場合には，第1次選抜を実施せず，第2次選抜のみとします。 【志願理由書】 以下について，指定様式に記載してください。なお，記載は出願者本人による手書きとします。 1．出願資格(3)に関する経験・実績(出願者がどのように努力してきたのか，取り組みの過程で学んだ(感じた)こと，本学類での学修にどのように活かそうとするのか) 2．将来の目標，それを実現するための計画 3．自己PR 4．理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由 ＜第2次選抜＞ 第1次選抜合格者に対して，幅広い分野における科学的なトピックに関する30分程度の模擬授業を行います。授業後に，模擬授業の内容に関する課題レポートの作成を課し，さらに面接を実施します。そして，以下に記した力を総合的に評価し選考します。 ○課題レポート：模擬授業の内容を聴き取り理解する力，授業内容についての基礎的な知識や思考力を評価します。模擬授業の内容を踏まえ，設定された課題について思考・判断してレポートにまとめる力や表現力を評価します。 以上に加え，課題の問いに対する探究力および思考の柔軟性についても評価します。 ○面接：面接員との質疑応答を通して，大学生活に対する意欲・関心や自身の考えを伝えるコミュニケーション力・表現力等について評価します。さらに，志願理由書の「4．理系教育女性人材育成枠に志願する動機・理由」に基づく面接を行い，高等学校において主体的に活動した事例を踏まえ，「理系教育女性人材育成枠」に志願した動機・理由，主体性等についても評価します。

その他	・総合型選抜を志願する女子は，出願する枠を以下の中から選択することができます。 □一般枠　□理系教育女性人材育成枠 □一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願 ・一般枠と理系教育女性人材育成枠の併願者が両枠に合格した場合，理系教育女性人材育成枠の合格者とします。

【学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）】 理工学部（仮称） 別表2－3

実施学部名	理工学部（仮称）
募集人員 （検討中）	情報理工学コース メカトロニクスコース 分子デザイン科学コース 環境システムコース 募集人員 検討中 （注）所属コースは1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。
出願資格	次の各号のいずれかに該当する者とします。 (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校，聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を令和8年３月以降に卒業または令和9年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定により令和7年4月以降年度の途中に高等学校を卒業または卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を令和7年4月から令和9年3月までに修了または修了見込みの者
推薦要件	次のすべての要件に該当する者のうち，学校長が責任を持って推薦し，合格した場合には入学することを確約できる者とします。 (1) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学で学ぶ強い意欲を持っている者 (2) 令和9年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち，本学が課した教科・科目をすべて受験する者
選抜方法	大学入学共通テストの成績（400 点）及び面接の成績（200 点）の総合点により判定します。ただし，大学入学共通テスト，面接のいずれかの得点が6割に満たない場合には，不合格とする場合があります。 出願書類は面接の資料として利用します。 ○大学入学共通テストで受験を要する教科・科目 「数学」（200 点），「理科」（200 点）の合計 400 点 数：「数学 I，数学 A」および「数学 II，数学 B，数学 C」 理：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から 2 または 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から 2 出題範囲を選択および「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から 1 【注意事項】 ①「理科」は，「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。 ②過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。 ○個別学力検査等 面接（200 点）
その他	(1) 出身学校長が推薦できる人数に制限はありません。 (2) 詳細は，令和8年度発表の「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

別表3－1

【一般選抜】 食農学部(仮称)

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等 教科	 科目名等	個別学力検査等 教科等	 科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等 試験の区分	 国 語	 地歴, 公民	 数 学	 理 科	 外国語	 情 報	 ペーパーインタビュー	 配 点 合 計
食品科学コース 農業科学コース 農業経営学コース フィールド環境学コース	前期日程 募集人員 検討中	国 地歴, 公民 数 理 外 情	「国語」 「地理総合, 地理探究」,「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」,「地理総合／歴史総合／公共」, 「公共, 倫理」,「公共, 政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は, 地理総合, 歴史総合および公共の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 数学①「数学Ⅰ, 数学A」および 数学②「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,「物理」,「化学」, 「生物」,「地学」 から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答してください。 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」 から1 「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000
						個別学力検査等							200	200
						計								1200
	後期日程 募集人員 検討中			その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000
						個別学力検査等							100	100
						計								1100

※一般選抜(前期日程), 一般選抜(後期日程)において調査書は, 高大接続および学力の3要素評価の観点から, 総合判定時の資料として活用します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄
○ 前期日程・後期日程について
① 「地理歴史」,「公民」から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。(2科目選択する場合は, 右図の中から選択してください。×印の選択はできません。)
② 「理科」については,「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。
③ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)。
④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和9年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄
○ 前期日程・後期日程について
① ペーパーインタビューは, 本学類が求める能力を多面的・総合的に評価するために, 紙面に記載された質問を読んで解答を記述する筆記型の試験です。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
○ 前期日程・後期日程について
① 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については, リーディングの得点を200点満点に, リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を, 配点(200点満点)に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は, リーディングの得点を, 配点(200点満点)に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は, 筆記の得点をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

		「地理総・地理探」	「歴総・日探」	「歴総・世探」	「地理総・歴総・公」 地理総 及び 歴総	 地理総 及び 公	 歴総 及び 公	「公・倫」	「公・政経」
「地理総・地理探」		＼	○	○	×	×	○	○	○
「歴総・日探」		○	＼	○	×	○	×	○	○
「歴総・世探」		○	○	＼	×	○	×	○	○
「地理総・歴総・公」	地理総 及び 歴総	×	×	×	＼	＼	＼	○	○
	地理総 及び 公	×	○	○	＼	＼	＼	×	×
	歴総 及び 公	○	×	×	＼	＼	＼	×	×
「公・倫」		○	○	○	○	×	×	＼	×
「公・政経」		○	○	○	○	×	×	×	＼

【総合型選抜】 食農学部（仮称） 別表3－2

実施学部名	食農学部（仮称）
募集人員 （検討中）	食品科学コース 農業科学コース 農業経営学コース フィールド環境学コース （以上4コース）募集人員検討中 （注）所属コースは，2年次前期終了時に決定します。
出願資格	地域社会貢献枠 次の（1）から（4）のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者，または高等専門学校の第3学年を終了見込みの者 (2) 福島県内の高等学校を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で，福島県内もしくは出身県内の農業，農業関連産業，食品関連産業，農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者 (3) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合は入学することを確約できる者 (4) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし IELTS 3.0 以上，TEAP 150 以上,GTEC 690 以上，GTEC CBT 510 以上， TOEIC L&R S&W 385 以上（L&R 225 以上，S&W 160 以上）など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 上記同等，同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）（注） 実践教育経験枠 次の（1）から（4）のすべてに該当する者とします。 (1) 高等学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科），総合学科もしくは中等教育学校専門学科（農業，工業，商業，情報，水産，家庭，看護，福祉に関する学科）を令和9年3月に卒業見込みの者，または高等専門学校の第3学年を終了見込みの者で，農学を学ぶ強い意欲を持つ者 (2) 本学部のアドミッション・ポリシーに適合し，本学部で学ぶ強い意志を持ち，合格した場合は入学することを確約できる者 (3) 以下のいずれかを取得している者 ① 実用英語技能検定準2級以上 以下の検定結果でも可 CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）A2とし IELTS 3.0 以上，TEAP 150 以上,GTEC 690 以上，GTEC CBT 510 以上， TOEIC L&R S&W 385 以上（L&R 225 以上，S&W 160 以上）など ② 実用数学技能検定2級以上 ③ 日本農業技術検定3級以上 ④ 日本商工会議所簿記検定2級以上 ⑤ アグリマイスター顕彰制度 シルバー以上 ⑥ 上記同等,同等以上の資格（例 情報処理検定ビジネス1級など）（注） （注）「上記同等，同等以上の資格」については，本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」（https//nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html）に掲載している別紙を参照してください
選抜方法	【第1次選抜】 書類選考とします。 以下の書類により，熱意と適正の評価を行います。 ・自己推薦書（本学様式） ・調査書 食農学部への適性を判断するため使用 【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し，課題論文を課し，面接を実施します。
その他	詳細は，令和8年度発表の「総合型選抜学生募集要項」によります